



こんにちは。暑い季節になりました。暑い日には
さっぱりとしたものが食べたくありませんね。今日の
「ろくぶんのろく」は、スタッフに好きな冷たい麺に
ついて答えてもらいました。読者の皆さまは、
どんな冷たい麺がお好きですか？ ㊦

ろくぶんの ろく	暑い日でも ツルツルっと 食べられる	好きな「冷たい麺」は？
井川		『もりそば』 今は糖質オフで食べませんが 毎日もりそば食べたいです
小坂		『素麺』 つゆにレモン汁を足したり、中華風など 色々アレンジして毎日食べています
金岩		『ざるそば』 ワサビを入れて…最高！
三谷		『冷やし中華』 サッパリとした醤油味も 胡麻ダレもどちらも好きです
平木		『冷やしうどん』 ざるでもぶっかけでも 稲庭でも讃岐でも何でも 良いです
中嶋		『おろしそば』 辛めの大根がいいです



暑中お見舞い申し上げます



寝苦しい日々が続いておりますが、皆様
いかがお過ごしでしょうか。私たちは暑さに
負けぬよう頑張っております。まだしばらくは
厳しい暑さが続きますが、体調にはくれぐれも
お気を付け下さいませ。井川徹 いーじホーム
株式会社 健工舎イカワ

カレーのお話し

年中食べられているカレーですが、今の時期は
トマトやナス、オクラなどの夏野菜を使った
カレーも美味しいですね。インドで生まれた
カレーはイギリスを経由し、日本には明治時
代に伝わりました。カレー粉を使ったとろみ
のあるイギリス式のカレーは、もり蕎麦が
1枚1銭の時代に1皿8銭で提供される
高級料理でしたが、昭和に入るとには大衆
食堂で手軽な値段で食べられるようになり
ました。当初のカレーは小麦粉とカレー粉を
じっくりと炒めてルーを作るという手間のかかる
料理でしたが1950~60年代に各メーカーから
固形のカレーが発売され、家庭でも簡単に
美味しいカレーを作ることができるようになりました。

ただ依然として、カレーはスパイシーで大人の食べ物
であることに変わりはありませんでしたが、この
常識を打ち破るカレーが1963年に発売
されます。それは発売から50年以上経った今も
市場シェアの3割以上を誇る「バーモント
カレー」です。子供と一緒に食べられるマイルド
なカレーを作るために採用されたのはリンゴと
ハチミツ。当時アメリカのバーモント州に
伝わるリンゴ酢とハチミツを使った「バーモント
健康法」がブームになっていたことから、この
画期的な甘口のカレーに「バーモント」の
名前がつけられました。今ではおなじみとなっ
ているプラスチックトレーの採用や中華味の発売、
辛さの順位表や賞味期限の印刷表示も
バーモントカレーが先駆けて始めたことです。



お店で飲むジョッキに入った**生ビール**は瓶や缶と比べて美味しく感じますが、実はお店で飲む生ビールも瓶や缶のビールも**中身は全く同じ**です。生ビールとは**熱殺菌をしていないビール**のことで、ろ過技術の向上により、日本ではほとんどのビールが生ビールなのです。工場では作り分けることはなく**同じ貯蔵タンク**から、樽に入れるか瓶や缶に入れるかの違いです。それでもお店で飲む生ビールが美味しく感じるのは、専用のサーバーを使って、数ミクロンの非常に**細かい口当たりの良い泡**を作ることや、**適度な温度管理**によります。ところで、**ビールジョッキの大きさ(容量)**には**規定がなく**、**生中**なら360~500mlと**お店によって**違います。ビールと泡の割合が7:3ならば**ビールの量は250~350ml**くらいとなります。

(ちなみに瓶は 大 633ml 中 500ml 小 334ml と決められています)

♪♪ あなたの8月の運勢 ♪♪

1月生まれ	買い物運良好月。願っていたものに出会えそう。
2月生まれ	以前に残念な結果になったことに再挑戦。
3月生まれ	お気に入りの場所でストレスを発散。
4月生まれ	今日の発想、判断、行動、発言は間違いないさそう。
5月生まれ	ストレスでお酒に走らないように。内臓をいたわって。
6月生まれ	水面下で何か大きな力が動いていそう。周囲を見渡して。
7月生まれ	天候が良ければ出来るだけ外出して。ひきこもり注意。
8月生まれ	苦手なもの、不慣れなものに挑戦してみよう。
9月生まれ	嫌なことを思い出してしまうモノを処分してバスキリ。
10月生まれ	自分の要望を抑えて、人のために重たこう。
11月生まれ	強引な人に気を付けて。衝突を避け柔軟に。
12月生まれ	周囲への気遣いが自分にもいい流れをもたらしてくれる。

今月のラッキーさんは、**4月生まれ**の方です☆(´▽`)ノ♪

読者の方にお試し価格で鑑定♪ 20分 2,000円より
連絡先 090 (2099) 9318 myk1124@yahoo.co.jp

◇Yのりれき◇

いざ五泊六日の講座で家を空けるとなると、どうしても二の足を踏む思いになるのであった。当時の事情と心境を思い起こすと、例えるならば死を待つばかりの身に最期の治療を試みて、成功するか失敗に終わるか神任せの心境であった。この六日間を、これからの仕事に結びつくお客様探しに回したほうが得策では?と迷うのであった。そして迷いに迷った末、(一)元々倒産の状況を招いている現状に対して、きっぱりと廃業の肝を決め、その後の生き方について考えてみよう。(二)M社会教育学は人間の生き方について何を教えるようとしているのか?この二つのことを少しでも知ることが、これからの人生の再スタートを切る上において重大な事由になるのだろうと、ようやく今回の六日間は人事不省に陥ったつもりで捨て身の覚悟で行ってこようという決心がついた。

この時自分は三十三歳で家内は三十一歳、長男が八歳小学三年生、次男五歳、三男が二歳、父六十三歳、母が五十六歳であった。従業員は、男性が四名と女性が二名であった。前日に経営の立て直しが出来るか出来ないかについて、滋賀の彦根までM社会教育講座に行くとすると伝え、留守中の段取りを一日がかりで入念に行った。皆にはお金も暇もないのに、どうして行かなければならないのかも言われた。とにかく宜しく頼むと願った。当日は後ろ髪を引かれる思いで駅に向かった。同行者が二名おられて自己紹介をし合い彦根まで向かった。(お一人は五十代の食品スーパーの経営者、もうお一人は、帽子専門の問屋を営んでおられるとのことだった)

日頃、車ばかりの暮らしで久しぶりにゆくりと列車の座席に腰かけて、移りゆく車窓を見るうちに走馬灯のように過去の色々なことが蘇ってきて、思い出に浸った。やがて降車駅に着き、講座の寮まではタクシーで約四時間の行程であった。全国から百二十名が参加し、各部屋二十代から七十代までの一室六名で、六日間の共同生活の始まりであった。各部屋には部屋長さん(七十代)がおられて、Yは六名のうち二番目に若かった。六十代と七十代の方は兵隊の経験がある方で「ハイ、承知しました」と軍隊調の話しかただったので、Yも緊張して「お布団を敷かせてもらいます」という口調になった。

発行元：株式会社健工舎イガワ

〒921-8164 金沢市久安4丁目17番地
TEL 076-242-3910 FAX 076-242-3915



いー家じゅくり

HP いーじホーム

HPも
見てね



夏季休業のお知らせ

誠に勝手ではございますが8/14(水)から16(金)まで夏季休業とさせていただきます。緊急の場合は090-2377-3720(井川)まで、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

